

範囲確認調査で見えてきた

前田遺跡の広がり



大注目！前田遺跡

前田遺跡は小綱木地区に所在する縄文時代の遺跡です。国道114号の改良工事に伴い、平成30年度から令和3年度にかけて県教育委員会が発掘調査を実施しました。

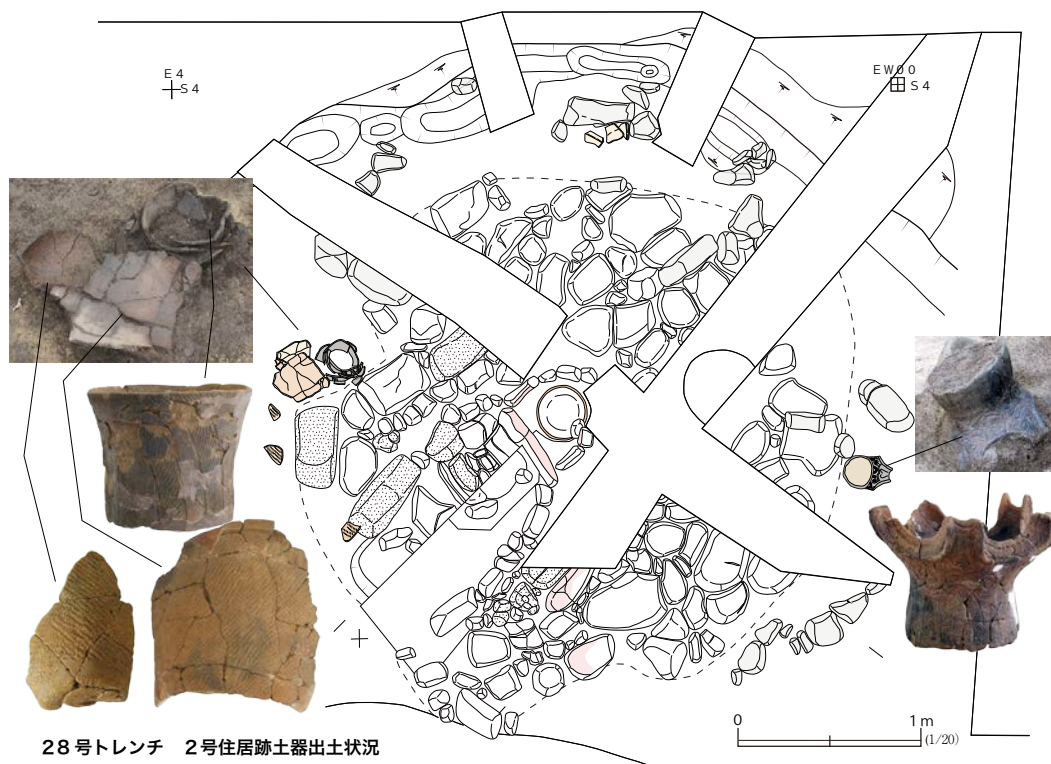
調査の結果、約4800年前の縄文時代中期後半の漆器や同後期から晩期の木柱、縄文人骨などが確認され、国内でも非常に稀な事例として大きな注目を集めました。

国史跡指定に向けて

町は前田遺跡の国史跡指定を目指し、令和4年度から範囲確認調査を実施してきました。

調査の結果、その範囲は当初の想定より大きく広がり、縄文の人々が活動していた様子が見えてきました。

4年にわたる範囲確認調査で見えてきた前田遺跡の全容。国史跡指定に向けての動きが佳境に入っている前田遺跡の今と今回の調査で明らかになったことをお知らせします。



28号トレンチ 2号住居跡土器出土状況



高根川の南側で見つかった約 4500 年前の家の跡



石と土器を組み合わせた炉

7/31-8/2 成果報告会&展示会



4年にわたる調査の成果報告会を中央公民館で開催しました。町内外からたくさんのご来場ありがとうございました！

高根川南側で発掘された約4500年前の家のなかでは、近畿地方の影響を受けた土器が見つかりました。北白川C式という型式のこの土器は、現時点で最北の出土例として注目されています。

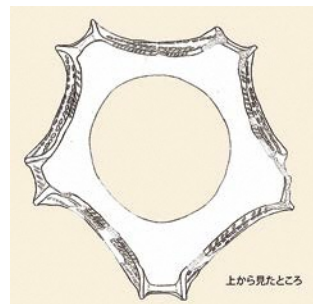
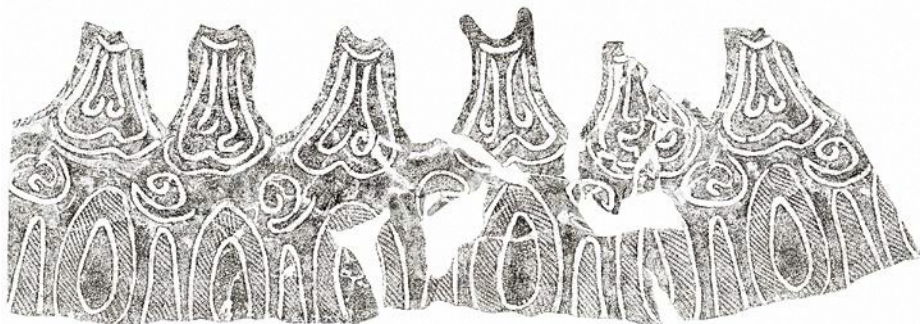
大発見。近畿地方の影響を受けた土器

調査の結果、前田遺跡の範囲は高根川の南側まで広がっていたことが判明しました。このことから当時は、遺跡の中央を高根川が流れていたと想定でき、住居跡などから縄文の人々は、高根川を挟んだ空間を絶えず利用していたことも明らかになりました。

高根川の南側にも人が！



上から見ると星の形に！5つの突起が大きな特徴！



範囲確認調査にご理解ご協力をいただいた地域の皆さま、本当にありがとうございました。

引き続き遺跡の分析をすすめてまいります。今後のお知らせにご期待ください！